

Revolabs HD Venue™ デジタルワイヤレスマイクシステム



ユーザー&セットアップガイド

Revolabs HD Venue™ Wireless Microphone System Manual
September 2016 (Rev 3.0.1)

目次

はじめに	5
同梱品	5
Revolabs HD Venueベースステーションを設置する.....	6
ベースステーションを設置する.....	6
Revolabs HD Venueベースステーションの接続部.....	7
操作および接続	7
Revolabs HD Venueのオーディオ接続部	8
Revolabs HD Venueベースステーションを設定する.....	8
リアパネルの設定用DIPスイッチの使用	9
Revolabs HDコントロールパネルソフトウェアの使用.....	10
Revolabs HDマイクおよび HDマイクアダプター	12
ウェアラブルマイク「HD MIC-WR」	13
無指向性テーブルトップマイク「HD MIC-OM」.....	14
指向性テーブルトップマイク「HD MIC-DR」	16
HD XLRアダプター「HD MIC-XLR」	17
カントリーマンマイク用アダプター「HD MIC-CM」	18
ワイヤレスマイクとベースステーションをペアリングする	19
Revolabs HD Venueチャージャーベース.....	20
電源モジュール	21
マイクバッテリーを充電する.....	21
Revolabs HDファームウェアをアップデートする.....	21
Revolabs HDインジケータLED	22
技術仕様.....	23
索引.....	24

※製品にはこのユーザー & セットアップガイドと別に安全上のご注意が同梱されています。ご使用前に必ず安全上のご注意をお読みください。

ラジオおよびテレビへの干渉

本機器は、FCC規則第15部に基づいてテストされ、クラスBデジタル機器に関する基準に適合することが確認されています。この基準は、居住空間に機器を設置する場合に、有害な電波干渉を防止する適切な保護を提供することを目的としています。本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用し、また、放射することができます。ユーザーガイドに従わずに本機器を設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉をもたらす可能性があります。ただし、電波干渉を引き起こさないという保証のできる設置方法はありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こしているかどうかは、本機器の電源を入れたり切ったりすることで確認できます。本機器が電波干渉を引き起こしている場合、干渉を回避するために以下の方法を1つ以上お試しください。

- 受信アンテナの向きや配置を変える。
- 機器とレシーバー間の距離を広げる。
- 機器とレシーバーをそれぞれ回路が異なるコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビの技術者に相談する。

はじめに

Revolabsデジタルワイヤレスマイク製品のお買い上げありがとうございます。この製品は1.9GHz帯のDECT技術を使用し、広帯域音声の伝送が可能な各種ワイヤレスマイクにより、明瞭度が高く信頼性のある、ケーブルに縛られない自由なコミュニケーションを実現します。クリアな音声が必要とされる、レコーディング、音声/ビデオ会議、音声認識、VoIP、PAなどの現場でお使いいただけます。



Revolabs HD Venueデジタルワイヤレスマイクシステムは50Hz～14kHzの周波数特性を持ち、人間の音声帯域すべてを伝送することができます。HD Venueシステムは革新的な技術と人間工学に基づいたデザインの融合を行い、マルチキャリア時分割多元接続および時分割複信（MC/TDMA/TDD）を、マイクからの送信/受信、両方に用いています。

この技術により、他の無線機器（802.11a/b/g/n無線LANなど）とマイクの共存を可能にしています。また、デジタル暗号化技術により、セキュアな通信を確保しています。

同梱品

Revolabs HD Venueシステムは下記の製品を含みます。

- 安全上のご注意（保証書）
- ベースステーション
- チャージャーベース
- チャージャーベース用ACアダプター
- ベースステーション用ACアダプター
- ホイップアンテナ2本、USBケーブル（USB A type-Mini USB B type）

ベースステーションはプロセッサを持ち、無線通信を行います。1セットのダイバーシティアンテナを備え、ラインレベルもしくはマイクレベルの、チャンネルごとに個別の音声入出力端子を備えています。

これにより、以下のような外部音声処理が可能です。

- ミキシング
- AEC（アコースティックエコーキャンセラー）
- フィードバック除去
- レベルコントロール
- イコライズ
- ノイズキャンセレーション

当システムは、下記機能によりオーディオの取り込み/再生を最適化しています。

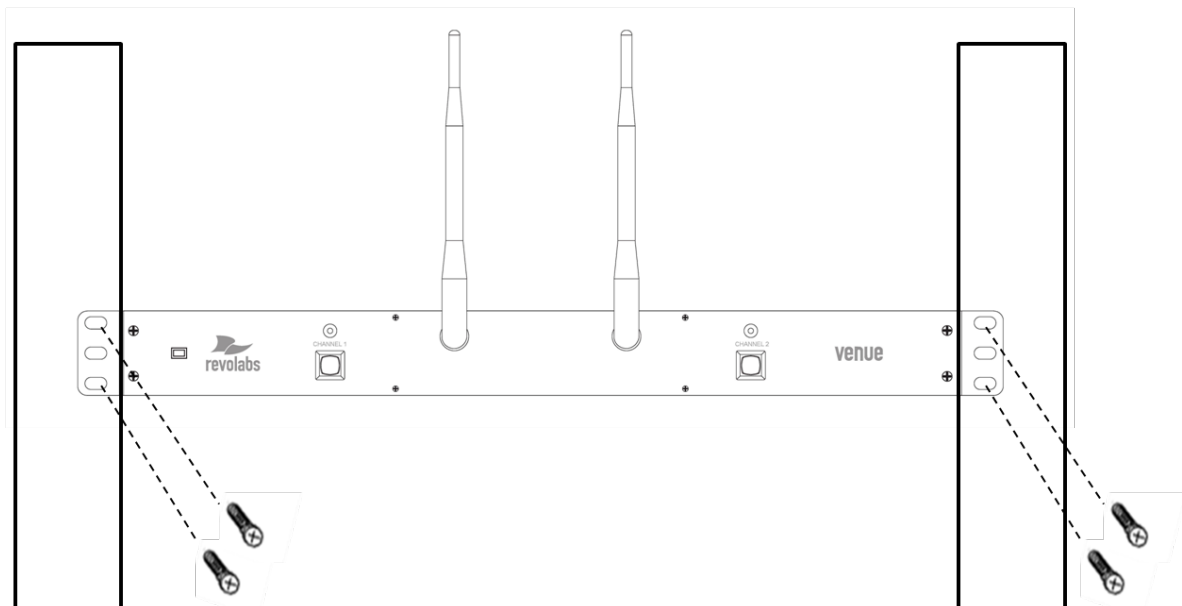
- 全使用マイクからの継続的な音声取得
- 最小限のルームノイズ
- ミュートコントロール
- 無線暗号化
- 自動チャンネル選択
- 音声の双方向通信

チャージャーベースは、HDワイヤレスマイクを使用していない際の保管、および充電を行います。

Revolabs HD Venueベースステーションを設置する

ベースステーションを設置する

Revolabs HD Venueベースステーションは付属ラックマウント金具を用いた標準19インチEIAラックへの設置に対応しています。

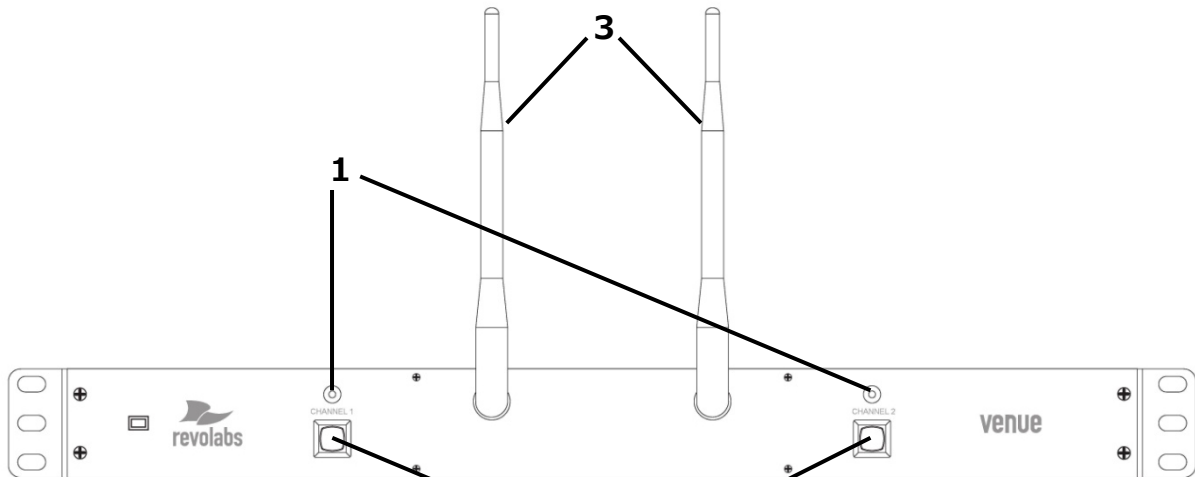


1. HD Venueシステムをラックに設置します。
2. 電源ケーブルを適切なコンセントに接続します。
3. 必要な入出力を接続します。

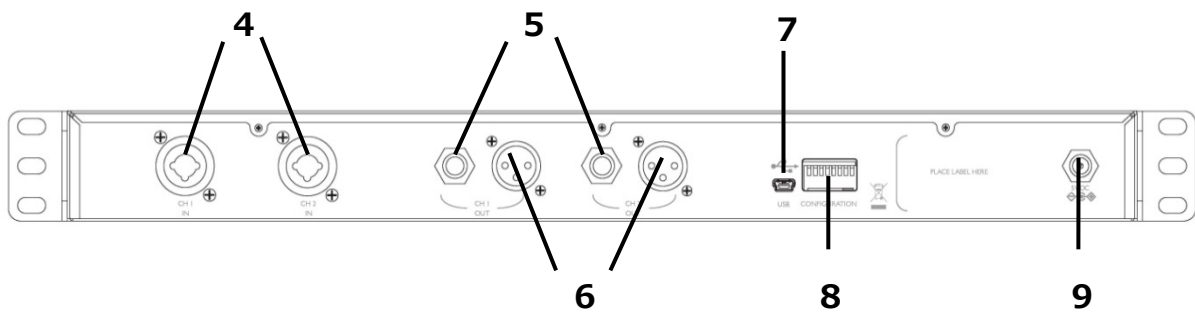
Revolabs HD Venueベースステーションの接続部

Revolabs HD Venueベースステーションは無線音声信号の処理、ペアリング、ミュート処理をRevolabsマイクとベースステーションの間で行います。下に、正面図および背面図を示します。

フロントパネル



リアパネル



操作および接続

1. チャンネルLEDインジケータ: マイクのミュートおよびペアリング状態を表示
2. ペアリングボタン: マイクとベースステーションのペアリング用
3. アンテナ
4. XLRおよび1/4"バランスコンボ入力コネクタ
5. 1/4"バランス出力コネクタ
6. XLRバランス出力コネクタ
7. ミニUSBシリアルインターフェース (ファームウェアアップデート専用)
8. 設定用DIPスイッチ (「リアパネルの設定用DIPスイッチの使用」を参照してください。)
9. 電源入力ロックコネクタ (DC5V)

Revolabs HD Venueのオーディオ接続部

2つのバランス入力（1/4"もしくはXLR）、および2つのバランス出力（1/4"もしくはXLR）を背面に備えており、各チャンネルの音声信号へアクセスできます。

1/4"ジャックの接続は以下のとおりです。

チップ (Tip)	ホット
リング (Ring)	コールド
スリーブ (Sleeve)	グラウンド

XLRコネクタの接続は以下のとおりです。

ピン1	グラウンド
ピン2	ホット
ピン3	コールド

それぞれのマイクのチャンネルに対応した、2つの出力チャンネルがあります。マイク出力コネクタはオーディオミキサーの入力コネクタに接続する必要があります。

ベースステーションの入力コネクタ（0dBu）はミキサーチャンネルの出力に接続することもできます。当システムでは双方向通信が可能のため、ベースユニットへ入力された音声を、マイクの2.5mm端子に接続したイヤープース（ウェアラブルマイクに付属）から聞くことができます。用途により、各イヤープースに対して個別のオーディオフィードバックを返すことができます。これにより、通訳、聴覚補助等の目的にも用いることができます。

注: USBポートは静電気に反応する恐れがあります。取り扱い後にベースステーションの音声が止まった場合は、ベースステーションを再起動してください。

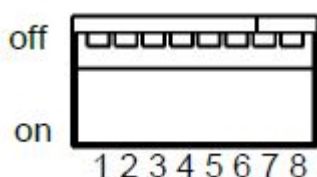
注: HD Venueシステムは他のRevolabs製品とは互換性がないため、同じ部屋に設置することはできません。HDとSoloワイヤレスマイク/チャージャーベースは置き換えることはできません。1箇所につき使えるHD Venueシステムは最大2台です。設計上の推奨事項に関しては販売元へお問い合わせください。

Revolabs HD Venueベースステーションを設定する

それぞれのRevolabs HD Venueベースステーションは、使用前に適切な設定がされている必要があります。正確な設定をするためには、以下のような情報が必要となります。

- **ラインレベル、もしくはマイクレベル、どちらの信号が必要か。**
下記のDIPスイッチ3の設定をご覧ください。
- **どれだけのHD Venueシステムが、近接した状態で使われるか。**
1台を超えるRevolabs HD Venueベースステーションワイヤレスマイクシステムをお持ちの場合、下記のDIPスイッチ5と6の設定をご覧ください。注：各システムでは、正常に機能する範囲内で最小の電波出力に設定することをおすすめします。
- **部屋の大きさはどれくらいか。**
下記のDIPスイッチ7と8の設定をご覧ください。注：各システムでは、正常に機能する範囲内で最小の電波出力に設定することをおすすめします。

リアパネルの設定用DIPスイッチの使用



DIPスイッチ	機能	Off (デフォルト)	On		
1	出力ミキシング	個別出力	ミックス出力		
2	ローパスフィルター	ローパスフィルターなし	ローパスフィルターあり		
3	音声出力レベル	ラインレベル	マイクレベル		
4	ミュートモード	個別ミュート	ミュートなし		
5	共有モード	すべての周波数を使用	1/2の周波数を使用		
6	A/B周波数グループ	周波数A	周波数B		
		300' (約90m)	150' (約45m)	75' (約23m)	25' (約8m)
7	通信出力強度	Off	On	Off	On
8		Off	Off	On	On

DIPスイッチの設定変更後、設定を有効にするには本体の再起動を行ってください。

設定

DIPスイッチ1: 出力ミキシング (Output Mixing)

DIPスイッチ1がOff (デフォルト設定) の場合、各HDマイクの音声は、ベースステーションにあるそれぞれのオーディオ端子 (1/4"およびバランスXLR) から出力されます。DIPスイッチ1がOnの場合は、2つのオーディオ出力はミックスされ、両方の出力端子から出力されます。

DIPスイッチ2: ローパスフィルター (Low Pass Filter)

DIPスイッチ2がOff (デフォルト設定) の場合、マイクからの音声帯域すべてを出力します。DIPスイッチ2がOnの場合、ローパスフィルター (LPF) が有効になり、音声帯域を狭めます。

DIPスイッチ3: 音声出力レベル (Audio Output Level)

DIPスイッチ3がOff (デフォルト設定) の場合、マイク出力のレベルはラインレベルとなり、出力は~0dBuとなります。DIPスイッチ3がOnの場合、マイク出力のレベルはマイクレベルとなり、出力は~-40dBuとなります。

DIPスイッチ4: ミュートモード (Mute Mode)

DIPスイッチ4がOff (デフォルト設定) の場合、それぞれのマイクは個別のミュート機能を持ちます。DIPスイッチ4がOnの場合、マイクのミュートボタンは機能しなくなり、チャージャーベースに入っていない場合は常にマイクは動作するようになります。

DIPスイッチ5および6: 共有モード (Sharing Mode)

2つのHD Venueシステムを同じ場所で使う場合、両方のシステムともにDIPスイッチ5をOnにする必要があります。そのうち1台のHD VenueシステムのDIPスイッチ6はOn (A周波数)、もう1台はOff (B周波数) に設定する必要があります。

DIPスイッチ7および8: 通信出力強度 (Transit Power)

ベースステーションの通信出力強度を調整することで、動作半径を減らすことができます。これにより、他のRevolabs製品や、同じ周波数帯域を使う他の機器との干渉を防止できます。

注: 各システムでは、正常に機能する範囲内で最小の電波出力に設定することをおすすめします。

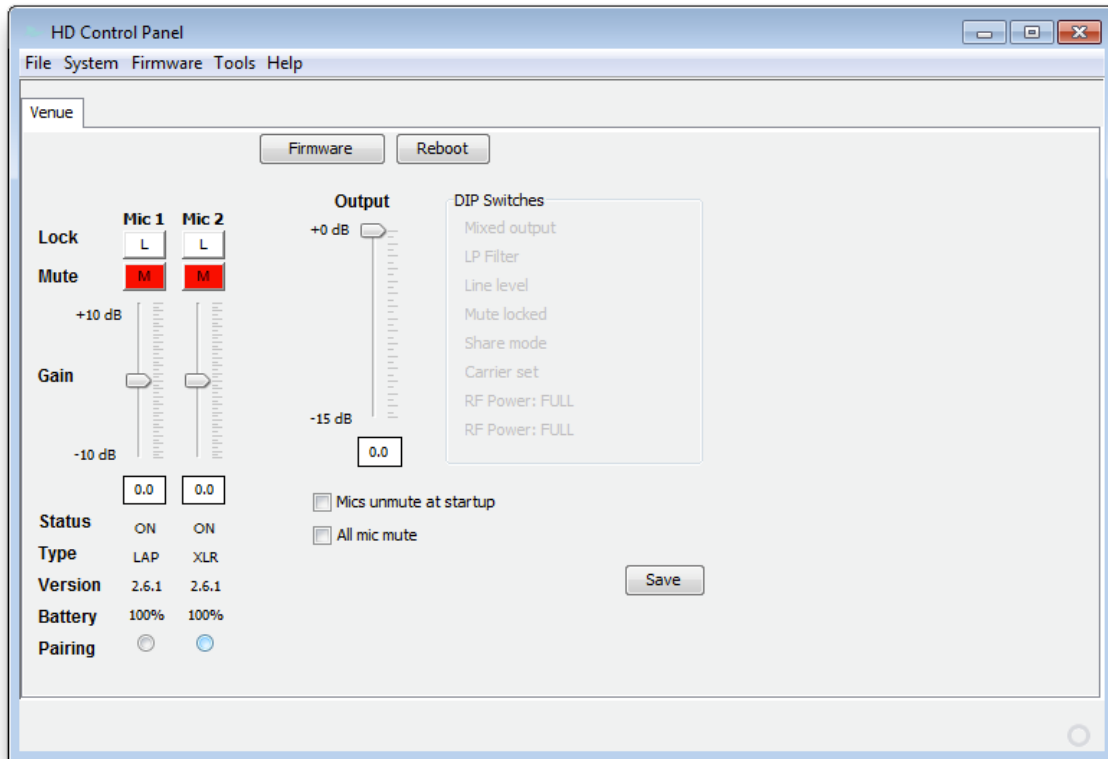
Revolabs HDコントロールパネルソフトウェアの使用

Revolabs HDマイクシステムは、グラフィカルなユーザーインターフェースを持つソフトウェアプログラムから、設定やマイクのステータスを確認できます。使用方法の詳細は以下のとおりです。

1. Revolabs HDコントロールパネルソフトウェアをrevolabs.jp/downloadsからダウンロードしてインストールします。
2. 付属のUSBケーブルを使用して、PCとHD Venueを接続します。
3. PCがハードウェアを認識し、必要なドライバをインストールすることを許可します。
4. 手順1でダウンロードしたソフトウェアをインストールします。このソフトウェアは、Windows 2000、Windows NT、Windows Vista、Windows 7、Windows8、またはWindows10にインストールできます。
5. Revolabs HDコントロールパネルソフトウェアを起動します。

設定

Revolabs HDコントロールパネルはHD Venueベースステーションの多くの設定をコントロールします。また、リアルタイムでマイクやシステムのステータスを確認できます。1度に1台のPCからコントロールできるVenueシステムは1台だけです。



Mics Unmute at Startup (起動時にマイクのミュート解除) :

デフォルトでは、チャージャーから外したとき、マイクはミュート状態になります。これはマイクを所定位置に置く際に発生するノイズを抑制するための機能です。「Mics Unmute at Startup」を選ぶと、チャージャーから外したときからマイクはミュート解除の状態になります。

All Mic Mute (一斉ミュート) :

この機能をONにすると、マイクは個別にミュート状態にすることができなくなり、どちらかのマイクのミュートボタンが押されたときには、両方のマイクがミュート状態になります。同様に、ミュートを解除しようとするときもいずれかのマイクのミュートボタンが押されたときに両方のマイクがミュート解除されます。

注: 「Mics Unmute at Startup」もしくは「All Mic Mute」を選択した後は、「Save」ボタンを押して変更を有効にしてください。

Lock (マイクのロック) :

それぞれのマイクには個別のロック機能があります。特定のマイクをロックした際、そのマイクのミュートボタンの機能は無効になり、ユーザーはマイクのミュート状態を制御することができなくなります。しかし、HDコントロールパネルソフトウェアからはロックされたマイクの制御と監視が可能です。

注: マイクのロック状態はベースステーションに記録されます。新しいマイクがロック状態となっていたチャンネルにペアリングされた場合、そのマイクも同様にロックされます。ロック状態になっていたマイクを、ロックされていないチャンネルとペアリングした場合も同様で、そのマイクはロックが解除されます。

Mute (ミュート) :

それぞれのマイクには個別のミュート機能があります。HDコントロールパネルソフトウェアを使い、PCからミュート・ミュート解除を制御できます。これらのミュートコントロールは常に、マイクにおける実際のミュート状態と同期しています。マイク側からマイクのミュート状態を変えた場合、この画面で変化を確認できます。

Gain (ゲイン) :

それぞれのマイクには個別のゲインフェーダーがあります。このフェーダーから ± 10 dBのゲインを0.5dBきざみで調節できます。マイクゲインの値はベースステーションに保存され、そのチャンネルとペアリングされたマイクに適用されます。

Status (ステータス) :

各チャンネルとペアリングされたマイクの現在のステータスを表示します。ステータス表示は下記のいずれかの内容となります。

- OFF = マイクはOFFです。
- ON = マイクはONで、動作しています。
- CHRG = マイクはチャージャーベースにあります。
- OUT = マイクは圏外にあり、通信できません。

Type (タイプ) :

各チャンネルとペアリングされた、各マイクの種類を表示します。

Version (バージョン) :

各チャンネルとペアリングされた、各マイクの現在のファームウェアバージョンを表示します。

注: 正しく動作するために、マイクバージョンはベースのバージョンと同じになっている必要があります。ミスマッチの状態では正しくマイクからの音声を受信できない可能性があります。

Battery (バッテリー) :

各チャンネルとペアリングされ、現在アクティブになっているマイクのバッテリー残量を表示します。値は12.5%きざみの最低値を表示します。つまり、表示された値が87%だった場合、実際の残量は87%~100%の間となります。

Pairing (ペアリング) :

ここから各ベースステーションのチャンネルをペアリングモードにすることができます。また、既にペアリングモードとなっているチャンネルを表示します。

Firmware (ファームウェア) :

このウィンドウからベースステーションとマイクの現在のファームウェアバージョンを確認し、それぞれにファームウェアをアップデートできます。

DIP Switches (DIPスイッチ) :

ここには現在のベースステーション背面のDIPスイッチの状態が表示されます。DIPスイッチがOFFの位置にあるときはグレーアウトの表示になっています。一方、ONの位置にあるときは機能が黒文字で表示され、その機能が現在アクティブになっていることを示します。

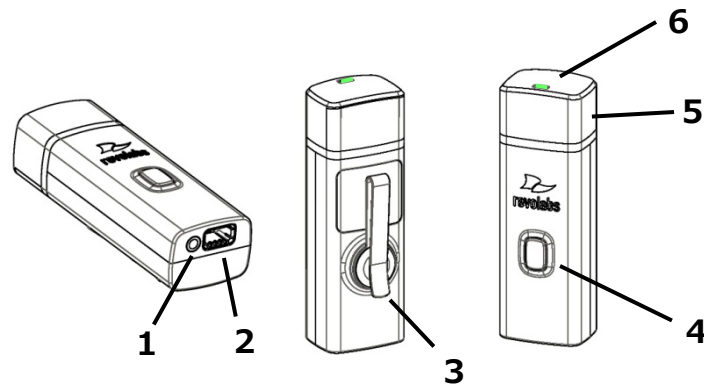
Revolabs HDマイクおよび HDマイクアダプター

下記の5つのマイクおよびマイクアダプターがRevolabs HD Venueシステムと組み合わせて使用可能です。

- Revolabsウェアラブルマイク「HD MIC-WR」
- Revolabs無指向性テーブルトップマイク「HD MIC-OM」
- Revolabs指向性テーブルトップマイク「HD MIC-DR」
- Revolabs XLRアダプター「HD MIC-XLR」
- Revolabsカントリーマンマイク用アダプター「HD MIC-CM」

ウェアラブルマイク「HD MIC-WR」

下図のRevolabs HDウェアラブルマイクは、ベースステーションとペアリングし、シャツのポケットや下襟、もしくはストラップに付けて使用できます。高品質の音声を、それぞれのユーザーと会議やオーディオシステムとの間で双方向通信します。



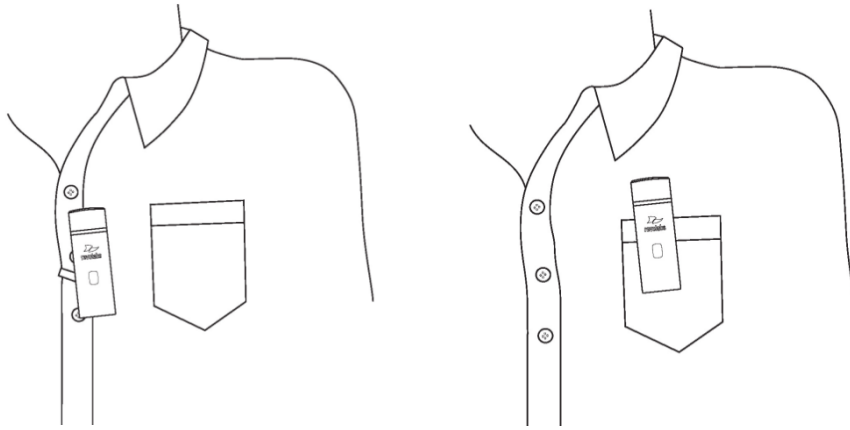
1. イヤーピースジャック: イヤーピース用、2.5mmのプラグに対応しています。
2. チャージングポート: Revolabs HDチャージャーベースと接続します。
3. ポケットクリップ: シャツのポケットや下襟、ストラップにもつけられます。
4. ミュートボタン: 押すとミュート、ミュート解除、ペアリングができます。
5. 音響カバー: 精巧なマイクの部品を保護します（取り外せません）。
6. LEDディスプレイ: ミュート、ミュート解除、ペアリングの状態を表示します。

注: 新しくシステムに追加するマイクは、それぞれ別々のチャンネルを使用してベースステーションとペアリングする必要があります。ペアリング方法の説明を参照してください。

Revolabsウェアラブルマイク「HD MIC-WR」は、チャージャーベースから外されると自動的にONになり、マイクを付ける際のノイズを防ぐため、ミュートがかかります。

HDウェアラブルマイクの使用方法

1. マイクをチャージャーベースから外します。
2. マイクを服やストラップに付け、胸骨のすぐ上、口から15～30cm程度の場所に付けます。LEDインジケータが上になり、口に向けた形になるようしっかり留まっていることを確認してください。



3. マイクを身につけた状態で、ミュートを解除するために、ミュートボタンを押します（緑のLEDが点滅することを確認します）。音量が小さすぎる場合は、マイクを口に近づけてください。
4. マイクをOFFにするには、マイクユニットをチャージャーベースに置くか、LEDが赤色の連続点灯になるまで、ミュートボタンを10秒ほど長押ししてから離します。

マイクがベースステーションの最大通信距離（90m）外に移動した場合、接続は解除され（LEDが赤/緑/黄に点滅します）、ミュートになります。

15秒ほど経つとビープ音が5回鳴り、ユーザーがマイクのことを忘れないよう、30秒ごとに再度鳴ります。マイクが圏内に15分以内に戻された場合は、再度接続が確立され、元の状態に戻り、ビープ音は止まります。戻されなかった場合は、マイクはOFFになります。

ウェアラブルマイクイヤープースのボリュームを調整する

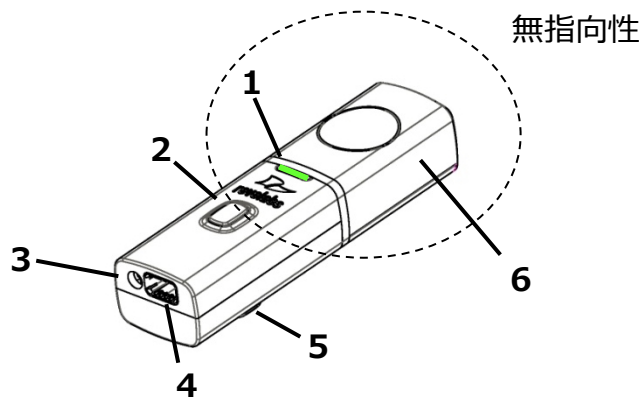
ウェアラブルマイクのイヤープースのボリュームを変えるには、イヤープースのケーブルにあるダイヤルを使います。



図のようにイヤープースに向けてダイヤルを回すと、ボリュームは上がり、ダイヤルをマイク側に回すとボリュームは下がります。イヤープースのケーブルを止めるために、服用のクリップを使用してください。

無指向性テーブルトップマイク「HD MIC-OM」

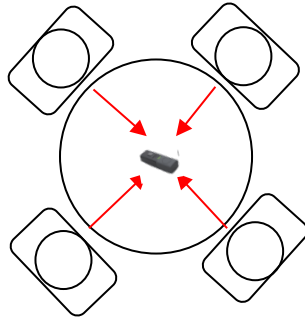
テーブルトップマイク「HD MIC-OM」は、1台のマイクで複数の会議参加者の音声を集音できます。



1. LEDディスプレイ: ミュート、ミュート解除、ペアリングの状態を表示します。
2. ミュートボタン: 押すとミュート、ミュート解除、ペアリングができます。
3. オーディオジャック: 2.5mmプラグに対応しています。
4. チャージングポート: Revolabs HDチャージャーベースと接続します。
5. ラバー足: 滑り止め、振動吸収パッドです。
6. 音響カバー: 精巧なマイクの部品を保護します（取り外せません）。

HD無指向性テーブルトップマイクの使用法

1. マイクをチャージャーベースから取り外すと、電源がONになり、自動的にミュート状態になります。（赤色LEDが点滅します）
2. 無指向性テーブルトップマイクは、話者から0.6～1.5m離してテーブルの中央に置きます。この際、マイクは全方向から集音するため、向ける方向を気にする必要はありません。できるだけ話者に近づけて置いてください。ただし、机の上の物や紙等で塞がれるような場所は避けてください。また、エコーの原因になるため、音声/ビデオ会議システムのスピーカーに近づけすぎないようにしてください。常に、平らな面の上に、ラバー足が下になるよう置いてください。



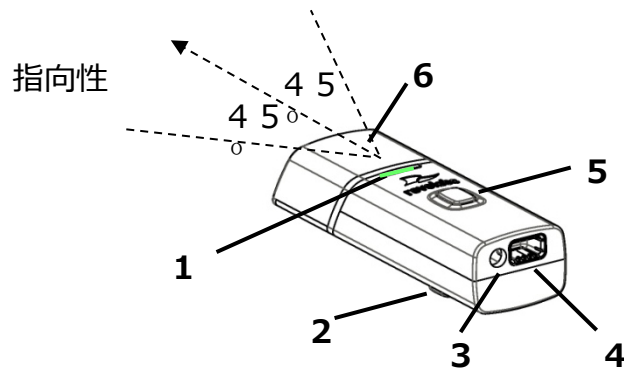
3. マイクをテーブルの上に置き、ミュートボタンを押してミュートを解除します（緑色のLED点滅で確認できます）。
4. マイクをOFFにするには、マイクユニットをチャージャーベースに置くか、LEDが赤色の連続点灯になるまで、ミュートボタンを10秒ほど長押ししてから離します。

マイクがベースステーションの最大通信距離（90m）外に移動した場合、接続は解除され（LEDが全色に点滅します）、ミュートになります。15秒ほど経つとビープ音が5回鳴り、圏外であることを示すため、30秒ごとに再度鳴ります。

マイクをベースステーションに近づけると、自動的に再接続され、元の状態に戻り、ビープ音は止まります。そうしない場合は、ビープ音が繰り返され、15分ほどで電源が切れます。

指向性テーブルトップマイク「HD MIC-DR」

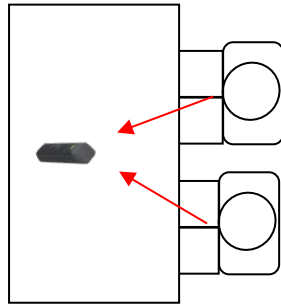
下図のHDテーブルトップワイヤレスマイクは、会議室のテーブルで1人もしくは2人の前に置くことで最適の結果が得られるよう設計されています。



1. LEDディスプレイ: ミュート、ミュート解除、ペアリングの状態を表示します。
2. ラバー足: 滑り止め、振動吸収パッドです。
3. オーディオジャック: 2.5mmプラグに対応しています。
4. チャージングポート: Revolabs HDチャージャーベースと接続します。
5. ミュートボタン: 押すとミュート、ミュート解除、ペアリングができます。
6. 音響カバー: マイクのエレメントを保護します（取り外せません）。

HD指向性テーブルトップマイクの使用方法

1. マイクをチャージャーベースから取り外すと、電源がONになり、自動的にミュート状態になります。（赤色LEDが点滅します）
2. 指向性テーブルトップマイクは、テーブル上に音響カバーが話者に向けた状態で置きます。1～2人の話者との間の距離は、0.6～1.5m程度の範囲に収まるようにしてください。この指向性マイクの集音パターンはマイク正面から左右45°です。できるだけ話者に近づけて置いてください。ただし、机の上の物や紙等で塞がれるような場所は避けてください。また、エコーの原因になるため、音声/ビデオ会議システムのスピーカーに近づけすぎないようにしてください。常に、平らな面の上に、ラバー足が下になるよう置かれるようにしてください。置き方は下図を参照してください。



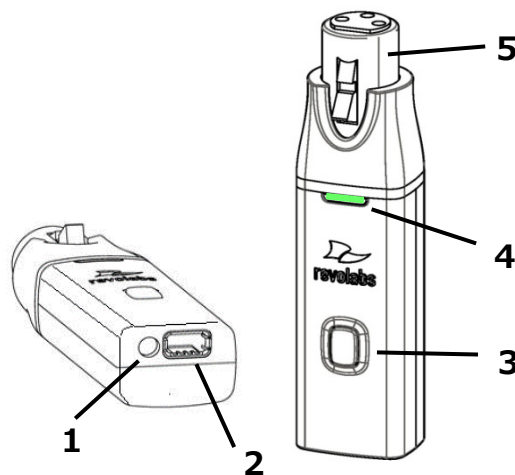
3. マイクをテーブルの上に置き、ミュートボタンを押してミュートを解除します（緑色のLED点滅で確認できます）。
4. マイクをOFFにするには、マイクユニットをチャージャーベースに置くか、LEDが赤色の連続点灯になるまで、ミュートボタンを10秒ほど長押ししてから離します。

マイクがベースステーションの最大通信距離（90m）外に移動した場合、接続は解除され（LEDが全色に点滅します）、ミュートになります。15秒ほど経つとビーブ音が5回鳴り、圏外であることを示すため、30秒ごとに再度鳴ります。

マイクをベースステーションに近づけると、自動的に再接続され、元の状態に戻り、ビーブ音は止まります。そうしない場合は、ビーブ音が繰り返され、15分ほどで電源が切れます。

HD XLRアダプター「HD MIC-XLR」

次の図にあるハンドヘルドマイク用 HD XLRアダプターは、ハンドヘルドのダイナミックマイクをミーティング、Q&Aセッション、教室等でケーブルなしで使えるようになります。

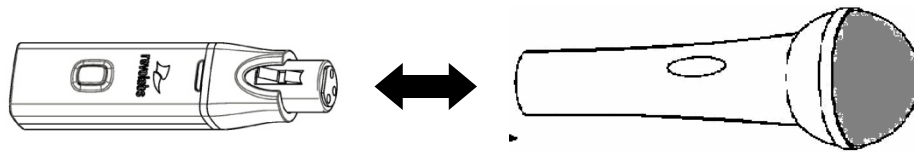


1. オーディオ出力ポート: イヤーピース用、2.5mmプラグに対応しています。
2. チャージングポート: Revolabs HDチャージャーベースと接続します。
3. ミュートボタン: 押すとミュート、ミュート解除、ペアリングができます。
4. LEDディスプレイ: ミュート、ミュート解除、ペアリングの状態を表示します。
5. XLRメスコネクター: ダイナミックマイク用、バランス音声です。

HD XLRアダプターの使用方法

1. XLRアダプターをチャージャーベースから外します。

アダプターの電源がONになり、自動的にミュート状態になります（赤色LEDが点滅します）。XLRマイクアダプターを一般的なダイナミックマイクへ接続することで、有線マイクをワイヤレスマイクにすることができます（下図を参照してください）。



注: アダプターはファンタム電源やバイアス電圧は供給しないため、コンデンサーマイクやエレクトレットコンデンサーマイクには使用することができません。

2. マイクを接続した上で、アダプターのミュートボタンを押してミュートを解除します（緑色のLED点滅で確認できます）。

注: マイクにミュートスイッチがある場合、使用前にこのスイッチもミュート解除状態にしてください。

3. アダプターの電源をOFFにするには、アダプターをチャージャーベースに置くか、LEDが赤色の連続点灯になるまで、ミュートボタンを10秒ほど長押ししてから離します。

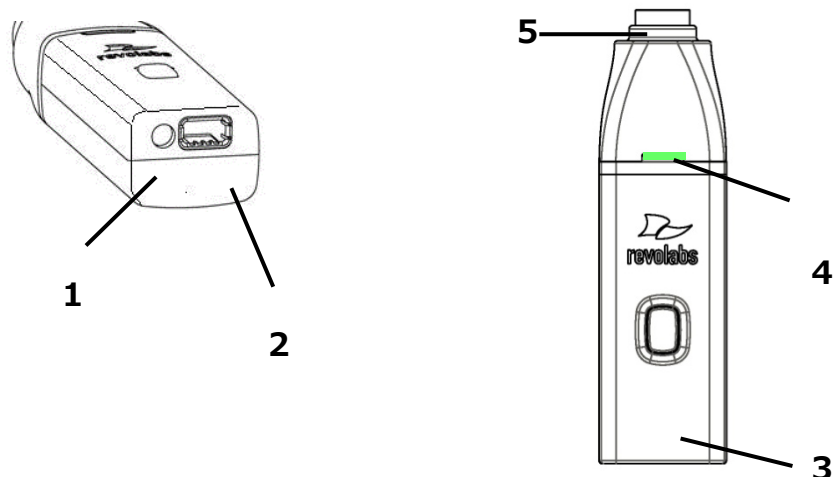
重要: アダプターをチャージャーベースに戻す前に、ラッチスイッチを押してマイクをアダプターから必ず外してください。

アダプターがベースステーションの最大通信距離（90m）外に設置された場合、接続は解除され（LEDが全色に点滅します）、ミュートになります。15秒ほど経つとピープ音が5回鳴り、圏外であることを示すため、30秒ごとに再度鳴ります。

XLRアダプターをベースステーションに近づけると、自動的に再接続され、元の状態に戻り、ピープ音は止まります。もしない場合は、ピープ音が繰り返され、15分ほどで電源が切れます。

カントリーマンマイク用アダプター「HD MIC-CM」

下記の図に示す、カントリーマンマイク用アダプター「HD MIC-CM」はカントリーマンマイクにつながり、ベルトパックやバッテリーが不要となり、放送用などの用途にワイヤレスを利用できます。



1. オーディオ出力ポート: イヤーピース用、2.5mmプラグに対応しています。
2. チャージングポート: Revolabs HDチャージャーベースと接続します。
3. ミュートボタン: 押すとミュート、ミュート解除、ペアリングができます。
4. LEDディスプレイ: ミュート、ミュート解除、ペアリングの状態を表示します。
5. TA4Fコネクター: カントリーマンマイクケーブルに接続します。

カントリーマンマイク用アダプターの使用方法

1. アダプターをチャージャーベースから外します。

アダプターの電源がONになり、自動的にミュート状態になります（赤色LEDが点滅します）。マイクアダプターとカントリーマンマイクはRevolabs専用のケーブルで接続されます。カントリーマンマイク用アダプター「HD MIC-CM」が、カントリーマンマイクに必要なファンタム電源を提供します。

2. アダプターの電源をOFFにするには、マイクユニットをチャージャーベースに置くか、LEDが赤色の連続点灯になるまで、ミュートボタンを10秒ほど長押ししてから離します。

重要:アダプターをチャージャーベースに戻す際には、必ずマイクおよびパーツをアダプターから外してください。

アダプターがベースステーションの最大通信距離（90m）外に設置された場合、接続は解除され（LEDが全色に点滅します）、ミュートになります。15秒ほど経つとピープ音が5回鳴り、圏外であることを示すため、30秒ごとに再度鳴ります。

カントリーマンマイク用アダプターをベースステーションに近づけると、自動的に再接続され、元の状態に戻ります。そうしない場合は、ピープ音が繰り返され、15分ほどで電源が切れます。

ワイヤレスマイクとベースステーションをペアリングする

ペアリングすることで、HDワイヤレスマイクとベースステーション間でリンクが作成され、それぞれ個別の電気的なシリアルナンバーが付与されます。以前にマイクとベースステーションとの間でペアリングが行われた場合は、チャージャーベースから外すたびに、マイクは自動的に同じベースステーションと接続しようとします。

注: 新しくシステムに追加するマイクは、それぞれ別々のチャンネルを使用してベースステーションとペアリングする必要があります。

マイクをチャージャーベースから外した際はデフォルトでミュートとなり（赤色LEDの点滅）、ミュートを解除する（緑色LEDの点滅）にはミュートボタンを押す必要があることを忘れないでください。

ペアリングされていないマイクは赤/緑のパターンでLEDが繰り返し点灯します。マイクとペアリングされていないベースステーションのチャンネルは、チャンネルLEDが消灯状態になります。（フロントパネルディスプレイが緑色に光っていることで、電源が入っていることをまず確認してください）

ペアリングが行われると、チャージャーベースからマイクを外した際はマイクおよびチャンネルLEDが赤色に点滅し、ミュートを解除すると緑色に点滅します。1つのベースステーションチャンネルにペアリングできるマイクは1つだけのため、注意してください。

個々のマイクをベースステーションにペアリングする

1. マイクをOFFにします（LEDは消灯状態）。マイクがONの場合は、LEDが赤色の連続点灯になるまで、10秒ほどミュートボタンを長押ししてから離すことでOFFにできます。（2回ビープ音がした際はボタンを離さないでください）。
2. ミュートボタンを7秒間長押し、マイクユニットをペアリングモードにします。LEDが赤色で連続点灯します。ミュートボタンを離します。マイクはペアリングモードに入ります。
3. 1分以内に、ベースステーションの希望するチャンネルのボタンを、LEDが赤色の連続点灯になるまで、7秒間長押ししてから離します。赤色で連続点灯しているLEDは、ペアリングが始まると緑色の早い点滅へと変わります。その後、ペアリングが完了すると、マイクとベースステーションが赤く点滅します（ミュート状態）。

Revolabs HD Venueチャージャーベース

マイクを使用していないときは、Revolabs HDチャージャーベースにしっかりとマイクを差し込んでください。システム内のすべてのマイクが正しく充電できるよう、それぞれのマイクがしっかりとベースの奥まで入っていることを確認してください。ベースステーションの機能を以下の図に示します。



1. LEDインジケータ: 電源の状態を示します。
2. チャージャーベイ: 最大2つのマイクを充電します。
3. 電源ケーブルジャック: DC5~24V電源入力です。

電源モジュール

チャージャーベースはACアダプターからのDC5V電源を必要とします。付属のACアダプターをAC100～240V、50～60Hzの適切なコンセントに接続してください。チャージャーベースの電源LEDが点灯します。

マイクバッテリーを充電する

初回使用時: ワイヤレスマイクを使う前に、マイクのバッテリーを8時間（もしくは一晩）チャージャーベースで充電してください。

再充電: 黄色LEDがゆっくり点滅するようになったら、バッテリーの充電残量は約30分です。時間の経過とともに（年単位です）、バッテリーはだんだんと劣化し、持続時間が短くなります。これは正常な状態です。使わないときは、マイクを常にチャージャーベースへ戻してください。

重要: マイクの電源である充電式リチウムポリマーバッテリーを交換できる製品と、交換できない製品があります。製品のバッテリーが交換可能かどうかは、シリアルナンバーからのみ確認できます。シリアルナンバーは、マイク本体の背面に貼られたラベルに記載されています。シリアルナンバーが7010または8020から始まる製品は、交換可能な充電式リチウムポリマーバッテリーを搭載しています。シリアルナンバーが7010または8020以外の番号から始まる製品の場合は、交換できないマイクバッテリーを返品および修理するための交換手順について、Revolabs (www.revolabs.com) もしくは販売元へお問い合わせください。シリアルナンバーが7010または8020から始まる交換可能なマイクバッテリーの場合、交換バッテリーは、Revolabsが推奨する、既存のものと同一製造元および型番のバッテリーを使用してください。正規および推奨の交換バッテリーの正しい型番について、または正規および推奨のバッテリーの返品と交換については、Revolabs (www.revolabs.com) もしくは販売元にお問い合わせください。

注意: バッテリーを誤って取り扱ったり、交換バッテリーの種類を間違えたりすると、バッテリーが爆発する危険性があります。本機器からバッテリーを取り外したり、外部から充電したりしないでください。バッテリーは焼却処分せず、製造元の指示や各地方自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

マイクが正しくチャージャーベースに挿されていることは、赤色LEDの連続点灯（充電状態）もしくは緑色LEDの連続点灯（100%充電）で確認できます。チャージャーベースにある際は、マイクはHDベースステーションに音声を送信しません。通常の使用時は、バッテリーは2時間ほどで完全に充電されます。ただし、容量の80%までは1時間20分ほどで急速充電されます。チャージャーベースにマイクを置いたままにした場合、満充電になると緑色で連続点灯します。

Revolabs HDファームウェアをアップデートする

HD Venueシステムは、ベースステーションおよびマイクのファームウェアをアップデートできるよう設計されています。HD コントロールパネルを使い、ベースステーションとマイクの両方にファームウェアを送信する必要があります。

注: 異なるファームウェアバージョンのベースステーションとマイクを組み合わせた場合、動作しない恐れがあります。ベースステーションとマイクがともにアップデートされていることを確認してください。

HD VenueベースステーションとHDマイクをアップデートする

1. revolabs.jp/downloadsに行き、最新のファームウェアをダウンロードしてPCに保存します。正しく動作させるには、ファームウェアファイルはzip形式のままである必要があります。
2. 付属のミニUSBケーブルを使用してベースステーションとコンピューターを接続します。
3. アップデートを行うマイクとベースステーションの間でペアリングを行い、マイクをチャージャーベースから取り出します。
4. Revolabs HDコントロールパネルソフトウェアを起動します。
5. Firmwareボタンを押します。
6. アップデートしたいファームウェアバージョンを選びます。
7. アップデートしたい対象として、ベースステーション、マイク、もしくは両方を選択します。
8. OKを押します。アップデートが完了すると、HDコントロールパネルで通知が表示されます。

マイクがチャージャーベースから取り外され、ベースステーションとペアリング済みであり、ベースステーションと通信できる状態であれば、HDマイクのファームウェアはワイヤレスでアップデートが行われます。

Revolabs HDインジケータLED

下記の表はLEDが表示する各種の状態を示しています。

機器の使用状態	マイクのLED	ベースステーション チャンネルLED	意味
マイクがチャージャーベースにある	赤色連続点灯	OFF	充電中
	緑色連続点灯	OFF	充電完了
マイクがチャージャーベースから外されている	OFF	OFF	マイクがOFFになっているか、バッテリーがない
	1.5秒ごとに2回赤色で点滅	1.5秒ごとに2回赤色で点滅	マイクがペアリングされ、ミュート状態になっている
	1.5秒ごとに緑色で点滅	1.5秒ごとに緑色で点滅	マイクがペアリングされ、ミュート解除状態
	赤色連続点灯	赤色連続点灯	ペアリングモードもしくは電源切断の確認中
	ゆっくり交互に緑/赤で点灯	ゆっくり交互に緑/赤で点灯	マイクもしくはチャンネルがペアリングされていない
	黄色/緑が交互に点滅	緑で点滅	充電残量低下 (ミュート解除状態)
	黄色/赤2回の交互点滅	赤で点滅	充電残量低下 (ミュート状態)
	赤/黄/緑の交互点灯	OFF	接続を探しているか、もしくは圏外。 15分ほどリンクを探し、再接続を試みた後、自動的にOFFになります。
	赤で高速点滅が数秒以上続く	OFF	無線の混雑：付近にユーザーが多すぎて無線接続ができないか、強い電波干渉がある。原因として、一部のデジタルワイヤレス製品や他のRevolabs製品の可能性があります。
赤で5回の高速点滅	OFF	故障です。販売元へ連絡してください。	

技術仕様

寸法 (W、H、D) および質量:

ベースステーション	48.0cm x 4.4cm x 23.4cm、2.95kg
チャージャーベース	11.8cm x 2.5cm x 7.7cm、161g
ワイヤレスマイク	HD MIC-WR:2.5cm x 7.3cm x 2.6cm、28g HD MIC-DM:2.5cm x 9.0cm x 1.9cm、26g HD MIC-OM:2.5cm x 9.5cm x 1.9cm、28g HD MIC-XLR:2.5cm x 10.0cm x 2.3cm、40g HD MIC-CM:2.5cm x 9.0cm x 2.6cm、37g

無線周波数: 1.895~1.903GHz (DECT 日本)

最大出力: 15.7dBm 37.15mW

チャンネル間隔: 1.728MHz

モジュレーション: GFSK

クラス: ISM

コネクタ:

ベースステーション用オーディオコネクタ	1/4"およびバランスXLR (2入力・2出力)
ファームウェアポート	ミニUSB
チャージャーベース	DC電源入力ポート、独自の4ピンマイクチャージジャック
マイク	独自の4ピンチャージプラグ、2.5mmモノイヤープラグポート (16Ω)

電源:

ベースステーション 5V DC、1Amp

チャージャーベース 5V DC、2Amps

最大通信距離: 90m (障害物のない状態)

(注: 実際の距離はRF 信号の吸収、反射、干渉などの状況に依存します)

バッテリー: リチウムポリマー、最大通話およそ8時間

充電時間: およそ2時間

セキュリティ: 128bit DSAA (DECT Standard Authentication Algorithm) 認証、64bit DECT標準暗号

音声帯域: 50Hz~14kHz

付属品: インラインボリュームコントローラ付きイヤークラス1個、ストラップ1つ (ウェアラブルマイクのみ)

環境条件:

温度 5°~40°C (動作温度)

湿度 20%~85%

索引

LEDインジケータ.....	19	ベースステーション.....	6
MC/TDMA/TDD.....	5	バックパネル.....	6
XLRアダプター.....	16	フロントパネル.....	6
イヤースピーク.....	8	ボリュームを調整する.....	14
インジケータLED.....	21	マイク.....	12
カントリーマンマイク用アダプター.....	17	LEDディスプレイ.....	13
システム構成.....	5	イヤースピークジャック.....	13
ダイバーシティアンテナ.....	5	チャージングポート.....	13
ベースステーション.....	5	ポケットクリップ.....	13
マイクチャージャーベース.....	5	ミュートボタン.....	13
チャージャーベイ.....	19	入力コネクタ.....	8
チャンネル.....	8	全二重通信.....	8
チャンネルLEDインジケータ.....	7	技術仕様.....	23
テーブルトップマイク.....	14, 15	時分割多元接続.....	5
バッテリーを充電する.....	20	時分割複信.....	5
再充電.....	20	電源ケーブルジャック.....	19
初回使用時.....	20	電源ソケット.....	7
ペアリング.....	18	電源モジュール.....	20

◆アフターサービス

お客様ご相談窓口:

Revolabsインフォメーションセンター(電話受付 = 祝祭日を除く月～金/11:00～ 17 :00)

Tel: 0570-020-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

上記番号でつながらない場合は03-5651-1838 発信者番号を通知する設定にしてお掛けください。

オンラインサポート: <http://jp.yamaha.com/support/>

修理に関するお問合せ:

ヤマハ修理後相談センター(電話受付 = 祝祭日を除く月～金/10:00～ 17 :00)

Tel: 0570-012-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

上記番号でつながらない場合は03-5651-1838 発信者番号を通知する設定にしてお掛けください。

◆販売元

(株) ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12KDX箱崎ビル Tel:03-5652-3850

*名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

◆アフターサービス

お客様ご相談窓口:

Revolabsインフォメーションセンター(電話受付 = 祝祭日を除く月～金/11:00～ 17 :00)

Tel: 0570-020-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

上記番号でつながらない場合は03-5651-1838 発信者番号を通知する設定にしてお掛けください。

オンラインサポート: <http://jp.yamaha.com/support/>

修理に関するお問合せ:

ヤマハ修理後相談センター(電話受付 = 祝祭日を除く月～金/10:00～ 17 :00)

Tel: 0570-012-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

上記番号でつながらない場合は03-5651-1838 発信者番号を通知する設定にしてお掛けください。

◆販売元

(株) ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12KDX箱崎ビル Tel:03-5652-3850

*名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

注: 使用前に、マイクは満充電され、
ベースステーションとペアリングが
済んでいる必要があります。

Revolabs HD Venue™ Wireless Microphone System Manual

January 2017 (Rev 3.0.2)